

Finding My Way
(自分の道を見つけること)

P.72

子供の頃に、家族で耳が聞こえないのは私だけだと気づきました。

As a child [熟語] 子供の頃
the only one [熟語] たった一人の人

【文章構造：関係代名詞】

~, I knew that I was the only one [who couldn't hear] in my family.
S V 接 S V

Who couldn't hear という文が直前の one を修飾している

このように「人」を説明する場合には関係代名詞 who(that)を用いる。

読話と口話を身につけなければなりませんでした。

lip-reading [名詞] 読話
lip-reading and talking [名詞] 読話と口話

私は母に、「お母さんの耳とちょうだい」と頼んだことがあります。

私の闘いは、とるとき始まりました。

struggle [名詞] 闘い

聾啞者のための高校では、バレーボール部に入部しましたし、学校活動のリーダーになりました。

deaf [形容詞] 耳の不自由な
the deaf [名詞] 聾啞者
join [動詞] 参加する
volleyball [名詞] バレーボール
leader [名詞] リーダー、指導者

P.73

私は大学生になって手話を学び始めました。

Activity [名詞] 活動
sign [名詞] サイン、合図
sign language [名詞] 手話

卒業後、ある銀行に勤めましたが、新たに挑戦したくなりました。

graduation [名詞] 卒業
bank [名詞] 銀行
challenge [名詞] 挑戦

「アイ・ラブ・ユー」という題の映画のオーディションを受けました。

Audition [動詞] オーディションを受ける